

カレッジだより



カレッジ 服部新学長就任



服部祥子副学長が平成27年2月1日付けで、シルバーカレッジ学長に就任されました。服部新学長は、3月20日の19期生の卒業式に”初のデビュー”。女性らしく柔らかな話しぶりで、しかも筋の通った中身でした。

祝辞で「現代人は効率、豊かさを求めて欲望至上主義の感がある。しかし、人々がともにどう生きるか、よりよく生きるかが大切。ピーター・ドラッカー教授は「<変革には100年かかる。その間はボランティアの力が必要>と述べています。ボランティアは、つながり、睦みあい、人に共感し、対価を求めません。諸氏がカレッジで学んだ上質の知恵を生かし、若い人を育てていただきたいとします」と語りました。最後に「お元気でね」。

〈経歴〉大阪生まれ、岡山大学医学部卒業、大阪大学医学部精神神経科入局、大阪府立公衆衛生研究所児童精神衛生課長、大阪府立看護大学教授、大阪人間科学大学教授を経て現在 頌栄保育学院院长・頌栄短期大学学長

19期生329人が巣立つ

第19期生の卒業式が3月20日、カレッジホールで行われ329人が巣立ちました。服部祥子学長から各コース・専攻の代表者に卒業証書が授与されたあと、来賓の三木孝・神戸市保健福祉局長と在校生代表・井上幹雄（音20）さんの祝辞があり、卒業生代表・友國健司（音文）

さんが謝辞を述べました。このあと、参加者全員で校歌を歌って終了。卒業証書は、各教室で講師から手渡されました。



コース別の卒業生は健康福祉58人、国際交流75人、生活環境60人、美術工芸35人、音楽文化35人、園芸32人、食文化34人でした。卒業生からは、壁掛け時計・ステージ階段手摺・掃除機5台が贈呈されました。

22期生の入学式

第22期生404人の入学式が、4月6日午前10時からカレッジホールで行われました。服部祥子学長は、建学の精神「再び学んで他のために」は共生の心を意味しており、全コースで人、自然や芸術などとの共生について学びます。再び学んで、温かい潤いのある社会をつくるために、3年間で主体的に生き生きと過ごしていただきたい。」と激励しました。コース別入学者は健福68、国際90、生環96、美工35、音文40、園芸35、食文40人。新入生代表の堤紀子（音文）さんは「再び学べる喜びでいっぱいです。みんなで支え合い、人と人との絆を大事にする社会にしたい」と決意を述べました。カレッジには、雨模様の中、9時30分ごろから期待に胸を膨らませて、新入生が続々と登校。ふれあいホールでは、各クラブが紹介パネルの前で、積極的にクラブの入部勧誘をしていました。〈わ〉もパネル展示を行い、サポート募金を募ると共に、駐車場整理や記念写真の撮影を担当しました。



す。みんなで支え合い、人と人との絆を大事にする社会にしたい」と決意を述べました。カレッジには、雨模様の中、9時30分ごろから期待に胸を膨らませて、新入生が続々と登校。ふれあいホールでは、各クラブが紹介パネルの前で、積極的にクラブの入部勧誘をしていました。〈わ〉もパネル展示を行い、サポート募金を募ると共に、駐車場整理や記念写真の撮影を担当しました。

グループ学習の合同発表会

26年度グループ学習合同発表会が3月3日、カレッジホールで開催され、卒業生や在学生500人が熱心に聞き入りました。発表は午前10時から、15グループが映像などを使って順次発表しました。ふれあいホールでは美術・工芸専攻の絵画・陶芸作品が展示されました。代表発表テーマは次の通りです。

【音文専攻】①和太鼓グループ②パーカッショングループ③合唱（全員）【食文専攻】①松花堂弁当②シニア層の夢が膨らむ食文化【生環コース】①「食農とウオーキング」でエコに②人生の最終章【美工専攻】創る・使う・愛でる陶芸作品創りの楽しみ

【健福コース】①健康ウオーキングで心と体の健康づくり②老化を遅らせる事はできるのでは？【国際コース】①ルミナリエの灯り②南京町の歴史的発展③パオオ共和国【園芸専攻】①トマト②ピーマン③メロン

●カレッジ事務局人事 3月31日付【退任】谷澤節子（事務局員）4月1日付【新任】高山美知（事務局員）